SPI-110用 パルスジェネレーター
PULSE GENERATOR PG-110　取扱説明書

特長

シフトポジションインジケーター SPI-110と本製品を使用することで
機械式スピードメーター(メーターケーブル式)車もシフトポジションを
表示可能になります。

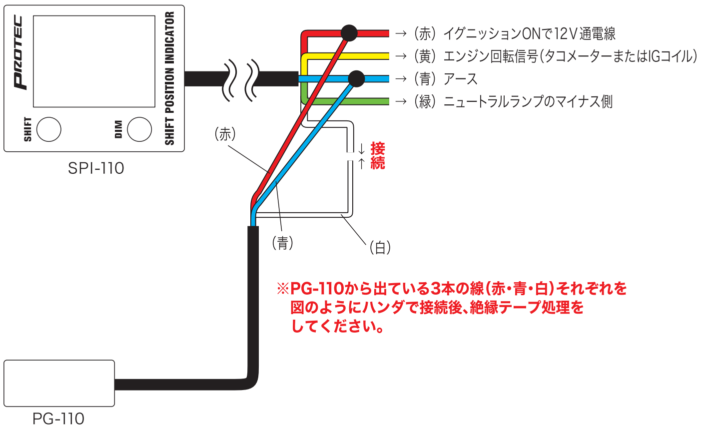
セット内容

●本体(両面テープ付) × 1
●チェック用LED × 1
●アルミ板 × 2
●アルミ板用両面テープ × 2(85mm×25mm)
●マグネット(1.5mm厚) × 8
●マグネット用ドーナツ型両面テープ × 1シート(8ヶ分)
●取扱説明書(保証書付き)

注意事項

●本製品は12V仕様のバイク(バッテリー搭載車)専用です。
●取付けの際は取扱説明書に沿って正しく取付けてください。
　取付け方法を間違えると火災・故障などの原因となります。
●本製品は防水仕様です。
●本製品の使用により生じた故障・事故などの損害については、
　当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
●修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては、
　当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

配線図



※PG-110から出ている3本の線(赤・青・白)それぞれを
図のようにハンダで接続後、絶縁テープ処理を
してください。

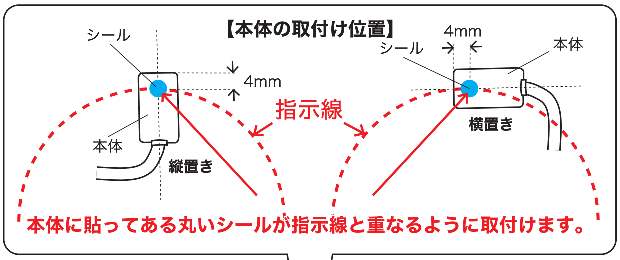
※SPI-110取扱説明書の配線図も併せて参照してください。
※SPI-110の設定方法についてはSPI-110取扱説明書を参照してください。

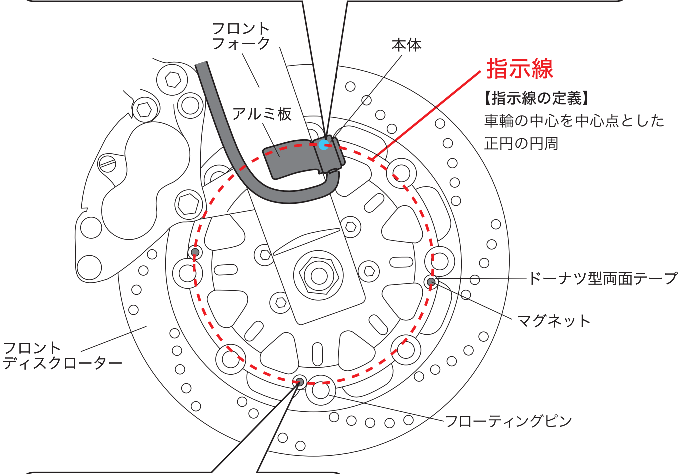
取付け方法

取付け位置

本体とマグネットを次の条件を満たす位置に取付けます。

【指示線の定義】車輪の中心を中心点とした正円の円周



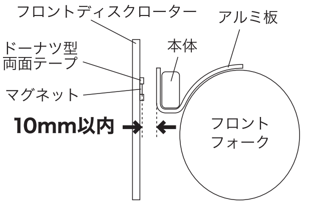


【マグネットの取付け位置】
マグネットの中心が指示線と
重なるように取付けます。

注意①
フロントディスクローターの
形状に合わせてマグネットを3個以上
市販の金属用ボンドで取付けてください。

注意②
等間隔になるように取付けてください。
※フローティングピンなど等間隔に
　並ぶ目安になるものを利用して
　取付けてください。

注意③
ディスクローターボルトの上および
穴には取付けないでください。



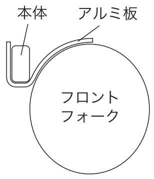
★ワンポイントアドバイス
フローティングピンの数によって取付けるマグネットの
数を調整すると良いでしょう。

フローティングピンの数	取付けるマグネット数
6個	6個 または1個飛ばしで3個
7個	7個
8個	8個 または1個飛ばしで4個
9個	2個飛ばしで3個
10個	1個飛ばしで5個

本体の固定

①アルミ板をフロントフォークの
　曲線に合うように折り曲げ加工し、
　フロントフォークに両面テープで
　固定します。

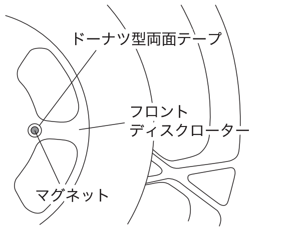
②本体をアルミ板に両面テープで固定します。



マグネットの固定

①位置が決まったらドーナツ型
　両面テープを貼ります。

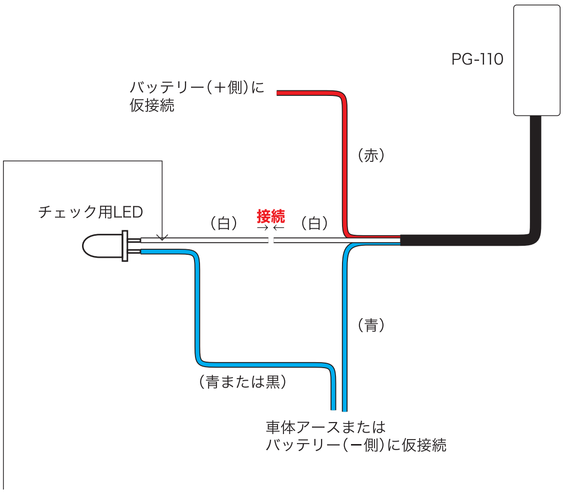
②マグネットを**必ず市販の金属用ボンドで**
　ドーナツ型両面テープの中に接着して
　固定します。



取付け位置のチェック

本製品は本体とマグネットの位置が正しく合っていないと正常動作しません。
必ず下記の手順で本体とマグネットの取付け位置のチェックを行ってください。

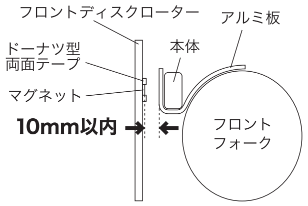
①本体及びマグネットを設置後、本配線をする前にチェック用LEDを
仮配線してください。



＊チェック用LED接続のご注意
チェック用LEDの白線は絶対にバッテリー(＋側)に接続しないでください。
バッテリー(＋側)に接続すると一瞬で壊れます。

②キーONにしてタイヤをゆっくり回してマグネットが本体を
通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消灯することをすべての
マグネットにおいて確認してください。

※LEDが全部点灯しない場合、
電源が来ていないか
本体とマグネットの間が
離れ過ぎていますので
修正してください。



※マグネットはディスクローターボルトの上や穴など
凹んだところに取付けないでください。
磁界が狭まり、正常動作しなくなる原因となります。

③取付けに問題がない事が確認できたらチェック用LEDを外します。

※チェック用LEDを付けたまま使用すると正しくスピードパルス信号が
出ません。シフトポジションインジケーターのエラー表示になります。

【リアスプロケットにマグネットを取付けた場合の注意点】
チェーン調整によりPG-110本体とマグネットの位置がずれる
場合がありますので、チェーン調整の際は必ず、
PG-110本体とマグネットの位置も調整してください。